

# TOKAS-Emerging 2019

文化でつながる。未来とつながる。

TokyoTokyo  
FESTIVAL

## 公募によって選ばれた、35歳以下の若手アーティストによる展覧会！

トーキョーアーツアンドスペース（TOKAS）では、若手アーティストを対象とした公募展「トーキョーワンダーウォール」の入選者に対し個展の機会を提供するプログラム「Emerging」を2001年より実施してきました。今年度からは名称を「TOKAS-Emerging」に変更し、日本在住の35歳以下のアーティストを対象とする公募プログラムとして開催します。

今回は全国から137組の応募があり、ポートフォリオでの第一次審査、面接による第二次審査を経て、6名のアーティストを選出しました。2019年7月から9月まで2会期にわたり、平面作品や立体作品、映像、インスタレーションなど、新進気鋭のアーティストによる作品を個展形式で発表します。また、各会期初日には専門家をゲストに招き、出展作家とのオープニング・トークを予定しています。

## ■ 展覧会概要

展覧会名： TOKAS-Emerging 2019

会期 | 出展作家： 第1期 2019年7月20日(土)～8月18日(日) | 谷崎桃子、砂田百合香、小田原のどか  
第2期 2019年8月31日(土)～9月29日(日) | 芦川瑞季、宮坂直樹、北條知子

会場： トーキョーアーツアンドスペース本郷（東京都文京区本郷2-4-16）

開館時間： 11:00-19:00（最終入場は30分前まで）

休館日： 月曜日（祝日の場合は翌平日）

入場料： 無料

主催： トーキョーアーツアンドスペース（公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館）

ウェブサイト： <https://www.tokyoartsandspace.jp/>

### 《関連イベント》

#### ◆ オープニング・トーク

第1期 | 7月20日(土) ゲスト： 榎田倫広（東京国立近代美術館 主任研究員）

第2期 | 8月31日(土) ゲスト： 竹久 侑（水戸芸術館現代美術センター 主任学芸員）

・ 16:30-18:00 オープニング・トーク

・ 18:00-19:00 交流会

#### ◆ スタッフによるギャラリー・トーク

8月10日(土)、9月21日(土) 15:00-15:30

### ＜お問い合わせ＞

〒135-0022 東京都江東区三好 4-1-1 東京都現代美術館内

トーキョーアーツアンドスペース（公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館）広報担当：市川、竹野

TEL: 03-5245-1142 FAX: 03-5245-1154 E-mail: [press@tokyoartsandspace.jp](mailto:press@tokyoartsandspace.jp)

■ **参加作家／広報用画像** ※この他にも広報用画像をご用意しております。詳しくは広報担当までお問い合わせください。

第1期 2019年7月20日（土）～8月18日（日）

谷崎桃子 | TANIZAKI Momoko

「lonely girl もう時間」

間接的なコミュニケーションが広がる現代に対峙するかのよう、絵画という直接的に身体を介する表現方法を用いて、人間の感情や他者との関係性を提示する作品を発表している。本展では、音楽や格闘技などの要素を風景に取り入れた絵画を制作し、水槽や植物を組み合わせ、インスタレーションを展開する。

◆プロフィール◆

1991年東京都生まれ。東京都を拠点に活動。2016年東京造形大学大学院美術研究領域修了。主な展覧会に「SUNDAY GROUP SHOW」（SUNDAY、東京、2018）、「Studio exhibition 2018」（SATOSHI OHNO STUDIO、山梨）、「Openstudio2018」（ON MAY FOURTH、東京）。主な受賞歴に「FACE 2019 損保ジャパン美術賞」堀元彰審査員特別賞（東京）。



1. 《lonely girl もう時間》2018  
油彩、アクリル、パネル

砂田百合香 | SUNADA Yurika

「engram」

20世紀初頭にドイツの生物学者によって唱えられた「engram／記憶痕跡」をコンセプトに、脳内で蓄積・忘却され、時に歪んでいく記憶を視覚化した可動式の立体作品を発表。光、影、音、空気を重ね合わせることで、時間と記憶の痕跡を表現する。

◆プロフィール◆

1989年東京都生まれ。東京都を拠点に活動。2012年武蔵野美術大学造形学部空間演出デザイン学科卒業。2009年よりアートユニットritmicoとして活動。主な展覧会に「Intersection」（Gallery58、東京、2018）、「TOKYO artcrossing BERLIN」（Haus Schwarzenberg neurotitan、ベルリン、2015）。アーティストインレジデンス GlogauAIR（ベルリン、2018）参加。主な受賞歴に「Aesthetica Art Prize 2018」Longlist入選（ヨーク、イギリス）。



2. 《Invisible》2018  
鉄、モーター

小田原のどか | ODAWARA Nodoka

「近代を彫刻／超克する」

東京・三宅坂に立つ女性裸体像《平和の群像》に焦点を当て、日本の近代化と並走した彫刻という制度を再考する。戦時は軍人の騎馬像を掲げ、再利用するかたちで女性裸体像が据えられた台座についての多角的な資料を基にした作品とともに、来場者が触れることのできる女性像の頭部の模刻を展示する。

◆プロフィール◆

1985年宮城県生まれ。東京都を拠点に活動。2015年筑波大学大学院人間総合科学研究科博士後期課程修了。主な展覧会に「野分、崇高、相模原」（アートラボ橋本、神奈川、2018）、「STATUMANIA 彫像建立癖」（ARTZONE、京都、2017）、白川昌生・小田原のどか「彫刻の問題」（愛知県立芸術大学サテライトギャラリー、2016）。主な活動に『彫刻1——空白の時代、戦時の彫刻／この国の彫刻のはじまりへ』（トポフィル、2018）編著。主な受賞歴に「群馬青年ビエンナーレ 2015」優秀賞。



3. 《空の台座》2017  
ネオン管、アクリル、電線

第2期 2019年8月31日(土)～9月29日(日)

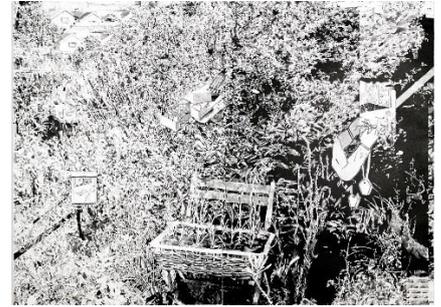
芦川瑞季 | ASHIKAWA Mizuki

### 「圏外からの景色」

散策して出合った風景をモチーフに、その場の出来事と少しの脚色を加え、現実と仮想を往還するようなイメージを一色一版のリトグラフによって制作している。本展では、TOKAS 本郷に訪れた時の印象をもとに、庭や出窓から僅かな気配を感じるような作品を発表する。

#### ◆プロフィール◆

1994年静岡県生まれ。東京都を拠点に活動。武蔵野美術大学大学院造形研究科博士後期課程作品制作研究領域在籍。主な展覧会に「シェル美術賞展2018」(国立新美術館、東京)、「第19回グラフィック『1WALL』」(ガーディアン・ガーデン、東京、2018)、「AOMORIトリエンナーレ2017 Classical」(青森県立美術館コミュニティギャラリー)。主な受賞歴に「武蔵野美術大学修了制作展」研究室賞(2019)、「AOMORIトリエンナーレ2017」準大賞・特別賞(村上新町病院賞)。



4. 《特異点について》2019  
リトグラフ、洋紙

宮坂直樹 | MIYASAKA Naoki

### 「Three Spaces」

認識の方法によって様々に現れる空間の概念を研究している。本展では相互の視界によって決定された三つの空間を提示し、他者の知覚を推測することによる、複数の視点の獲得を試みる。

#### ◆プロフィール◆

1985年千葉県生まれ。京都、パリを拠点に活動。2016年東京藝術大学大学院美術研究科美術専攻先端芸術表現領域博士課程修了。主な展覧会に「Shift-Shift」(神戸アートビレッジセンター、兵庫/Midnight Museum、京都、2018)、「Tips」(京都芸術センター、2018)、「Exercise for Death」(ARTZONE、京都、2017)。主な助成歴に「吉野石膏美術振興財団 若手美術家の在外研修に対する助成」(2018)、「野村財団芸術文化助成」(2017)。



5. 《CV Projection 1》2015  
ミクストメディア

北條知子 | HOJO Tomoko

### 「声をひそめて」

歴史の中で沈黙させられてきた(女性の)声に焦点を当て、その背景にある権力構造を遊戯的な方法で代替する可能性を提示する。本展ではオノ・ヨーコの過去の展覧会や言説を軸に、「過去に実際に起こったこと」と「真実として記述されるもの」の間に介在する差異、主観、権力、偏見、欲望などの枠組みを照射し、沈黙を可視(聴)化する。

#### ◆プロフィール◆

1988年愛知県生まれ。東京都を拠点に活動。2016年ロンドン芸術大学ロンドン・カレッジ・オブ・コミュニケーション MA サウンド・アーツ修了。主な展覧会に「Lost and Found」(Kotolňa、コシチェ、スロバキア、2018)、「Unfinished Descriptions」(Hundred Years Gallery、ロンドン、2018)。主な活動に《Shinonome 東雲》発表(Hojo+Kraftとして、ZKM、カールスルーエ、ドイツ、2019)。主な助成歴に「ポーラ美術振興財団 若手芸術家の在外研修に対する助成」(2017)。



6. 《Wish Piece II》2018  
木箱、音楽プレイヤー、聴診器

「TOKAS-Emerging 2019」  
広報用画像申込書

Fax 番号: **03-5245-1154**

Email: **press@tokyoartsandspace.jp**

トーキョーアーツアンドスペース広報担当宛

(ご希望の広報用画像番号にチェックを入れてください)

1 2 3 4 5 6

掲載媒体名(特集・コーナー名)

種別 TV ラジオ 新聞 フリーペーパー ネット媒体 その他( )

掲載/放送予定日 月 日 発売/放送( 月号)

貴社名

ご担当者名

Tel

Fax

E-mail(画像はメールでお送りしますので必ずご記入ください)

画像到着希望日 月 日 時頃までに送付

※ご記入いただいた個人情報は、お問い合わせ及びご要望に対応させていただく目的のみ利用させていただきます。

※お急ぎの場合はメールもしくは、お電話でお問い合わせください。

【注意事項】

※画像データは申請時の目的以外での使用はできません。ご掲載や放送以外の目的での写真のご利用はご遠慮ください。また、申請時とは別の媒体での使用、再販等の場合は改めて申請してください。

※画像データは、メールにてお送りします。お手元に届くまで1~2日(土日祝休み)ほど頂戴いたしますのでご了承ください。

※作品画像は全図でご使用いただき、トリミング、文字載せはお控えください。必ず所定のキャプション等を併記してください。

※提供した画像データは、使用后速やかに破棄してください。画像が無断で第三者に利用されることのないよう、Web サイトへのご掲載は、画像にコピーガードや転載不可の明記をしてください。

※情報確認のため、事前に記事原稿をお送りください。

※取材の内容が収録された番組等はビデオ・DVDを一部、印刷物(掲載誌・雑誌)については現物を1部もしくはコピーの場合は3部ご送付ください。Web サイトの場合は、掲載時に URL をお知らせください。

<お問い合わせ> ※校正ゲラ及び掲載誌紙・DVD等は下記宛にお送りください。

〒135-0022 東京都江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内

トーキョーアーツアンドスペース(公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館)

広報担当: 市川、竹野

TEL: 03-5245-1142 / FAX: 03-5245-1154 / E-mail: press@tokyoartsandspace.jp